

ごみ減量トレンドィ



フリーマーケット (市主催)

不用品、再び輝く。

特集

未来のための選択 - リユースが持つ力 -

第40号
2023.9.15



未来のための選択 - リユースが持つ力 -

“できること”から始めよう！

リユースアクション

01

知人・親戚等にゆずる！

いらなくなった物でも身近で必要としている人がいるかもしれません。捨てる前に知人や親戚に聞いてみましょう。



02

フリーマーケット・リユースショップ・フリマアプリ等で売る！

不用品をお店等に売ることも大切ですが、フリマアプリ等を使えば、簡単に手早く不用品を売ることができます。一度試してみましょう。



リユース品の楽しさと節約

リユース品（中古品）の購入も、環境にやさしい行動の1つです。リユース品はユニークなものも多く、近年ではフリーマーケットに出掛けなくても、フリマアプリ等のインターネット上で、多様な商品を選ぶことができるようになりました。

また、リユース品はリーズナブルな価格で手に入り、お財布にもやさしい選択肢です。自分だけのスタイルを見つけながら、無駄を減らし、家計を助けることができます。

市のリユースアクション

市はリユースの推進を図るため、「フリーマーケット」や「もったいない食器市」の開催、衣類や靴・革製品の回収等のアクションを行っています。また、「メルカリShops」での粗大ごみ等の販売も始めましたので、皆さんもリユースアクションを実践してみてください。



▲衣類等回収ボックス



▲靴・革製品等回収ボックス

市内で発生する大量のごみ

清掃センターには、毎日多くのごみが運ばれてきます。多い日には、90トンのごみが運びこまれ、そのほとんどが焼却や埋め立てにより処理されています。一部のごみは、リユースやリサイクルをしています。その割合は全体のごみ量のうち、約14%と僅かです。

リユースとリサイクル

リユースとリサイクルは、いずれもごみを減らし、資源の有効活用をすることができる「環境にやさしい行動」です。しかし、環境負荷の観点では、大きな違いがあることをご存知でしょうか。

そもそも、リユースとリサイクルは、使用済みの製品等を「再使用」するのか、「再加工」して新たな製品を作るかで違いがあります。製品等をそのまま使用する「再使用」

（リユース）とは違い、「再加工」による新しい商品の製造（リサイクル）には、資源やエネルギーの消費を伴います。この観点で言えば、リユースをすることは、環境にやさしい選択と言えるのです。

3Rの優先度

持続可能な未来のためには「3R」が欠かせませんが、この3Rに優先度があることをご存知でしょうか。

環境への負荷が少ない行動ほど、優先度は高くなり、一番優先度が高い行動は「リデュース」です。この優先度を意識した行動が環境負荷の低減やごみの減量に繋がります。

【リデュースの例】

- エコバッグ・マイボトルの持参
- 食品ロスの削減



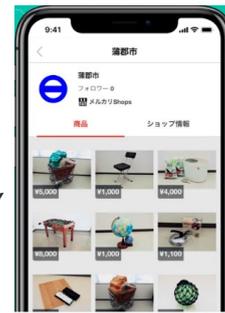
【出典】環境省「ecojin」

市は、ごみの減量・リユースの推進を目的として、
フリマアプリ「メルカリ」の「メルカリShops」を活用
した“**まだまだ使える粗大ごみ**”等の販売を始めました。

家具を中心に販売し、収入は市のごみ処理費用等の財
源として活用します。

清掃センターでの現地引取のみ(配送不可)

フォロー
で便利に



メルカリ
Shops
で販売



ご購入方法

簡単！
3ステップ



「購入手続き」をタップ



支払方法を選ぶ



商品を購入

Reuse② **もったいない食器市 & 子供服市** 初開催

ごみの減量・リユースの推進のために“未使用”の食器と“まだ
まだ使える”子供服等を無償でお渡しします！

開催日時・場所

11.12 日 9:00~12:00 
中郷文化プラザ（梅名353-1）

※雨天の場合、中止します / マイバッグをご持参ください

続 **もったいない子供服市**

日時 11.13 (月) ~ 11.17 (金)
(9:00~16:30)

※11.15 (水) はお休み

場所 本町子育て支援センター
(本町3-29 本町タワービル4階)



◀ 本町子育て
支援センター

ご家庭で不要な食器・子供服等をお譲りください！

【日時】 10月15日(日) 10:00~12:00 / 13:00~15:00

【場所】 三島市清掃センター（字賀茂之洞4703-94）

【対象】 ●食器：皿、茶碗、グラス、湯呑など（未使用品に限る）
●子供服等：子供服（～150cm）、抱っこ紐、ベビーカー、絵本、未開封のおむつ
（清潔かつ使用可能なものに限る）

※子供服用ハンガーがありましたら、併せてお譲りください。

【注意】 ●食器・子供服等のお持ち込みは、三島市民に限ります。
●汚損がひどいものは、お引き取りできません。



生ごみの減らし方

食品ロス編

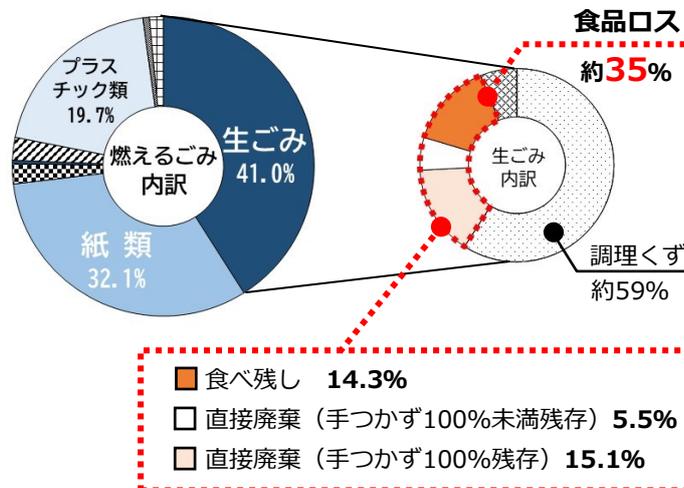
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



食品ロスの現状

日本の食品ロス量（令和3年度）は、年間523万トンと推計されています。これは、世界の食料援助量（440万トン）を上回る量となっています。

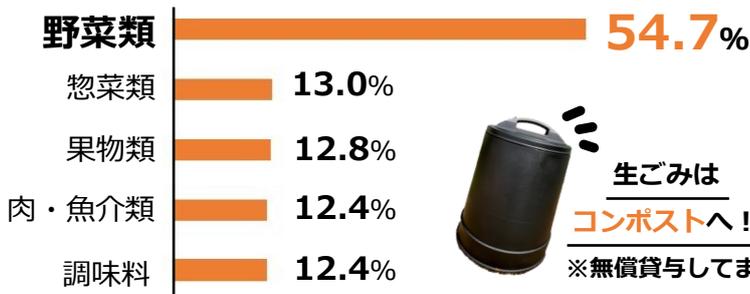
また、三島市の家庭から発生している食品ロスは、生ごみのうちの約35%と推計され、生ごみを減らすには、「食品ロス」を減らす工夫が必要です。



捨ててしまいがちな食品

食品ロスに関する三島市民意識調査（令和4年度）で「捨ててしまいがちな食品」を質問したところ、「野菜」の食品ロスが非常に多い結果となりました。

食品ロス量を減らすには、「野菜」の食品ロスを減らす工夫が必要です。



▲家庭で捨ててしまいがちな食品（上位5品目）

“野菜”の食品ロスを減らそう

食品ロス削減レシピの活用

残り野菜の使い方に困った時は多くの野菜を使えるレシピを知っていると便利です。



▲豆腐でふわふわお好み焼き



◀レシピはこちら
(市HP)

Column

食品ロス削減に向けた料理講座

学校法人鈴木学園 中央歯科衛生士調理製菓専門学校と連携して、美味しく食品ロスを削減するための親子料理講座を開催しました！



保存方法の工夫

野菜によって保存方法は異なります。上手に保存してムダなく美味しく食べましょう。



◀ほうれん草

野菜は生えている時と同じ向きの保存で長持ち！



◀詳しくはこちら
(市HP)